

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第568号（平成27年2月25日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー開催（ご報告）
2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. リサイクルポートの動き：①三池港（製鋼煙灰をリサイクル処理）
2. 大脇崇港湾局長が港湾政策の動きを記者会見で説明
3. 「交通政策基本計画」を2月13日閣議決定

=====

1. 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー開催（ご報告）

平成27年2月20日（金）国際資源循環ミニセミナーを開催しました。

参加人数は23名でした。

ご協力ありがとうございました。

2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日時：平成27年3月23日（月） 場所：みなと総研3階会議室

13：00～14：30 WG⑥

14：30～15：30 WG③・④

15：30～16：30 WG①

なお、WG②につきましては別途日程調整予定のため未定です。

【事務局】

=====

1. リサイクルポートの動き：①三池港（製鋼煙灰をリサイクル処理）

国土交通省からリサイクルポートに指定されている三池港（港湾管理者・福岡県）では、国内各地の製鋼工場で発生する製鋼煙灰を船舶で受入れ、臨海部の工場で処理し非鉄精錬所の原料として利用しているほか、発生するスラグも有価物としてセメント原料として海外に輸出している。三池港は年間約200万tの港湾貨物を取り扱っており、このうちリサイクル貨物は約10%に相当する。

三池港の平成26年のリサイクル資源取扱量は約19万9400t。このうち移入は、製鋼煙灰4万8900t、石炭灰2万900tなど合計約7万4300t。製鋼煙灰は北海道から沖縄まで、全国の主要な製鋼所で発生したものを受入れている。

一方、輸出は製鋼煙灰を熔融する際に発生するスラグ約9万6000tのほか、背後の石炭火力発電所で発生する石炭灰2万4000tなど合計約12万4000t。いずれも東南アジアやロシア向けにセメント原料として海上輸送している。

三池港の背後には三池精練㈱が立地しており、製鋼の過程で発生する製鋼煙灰を無害化処理し、非鉄精錬所の原料になる粗酸化亜鉛やMFマットを生産、同港のリサイクルシステムの要になっている。各地の製鋼工場は円安影響を受けて生産量を増やしていることから、今後三池港のリサイクル材の取扱いも増加する可能性がある。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 大脇崇港湾局長が港湾政策の動きを記者会見で説明

国土交通省の大脇崇港湾局長は2月13日、記者懇談会を持ち、27年度予算案・税制改正等を踏まえた港湾の重要施策について見通しを語った。国際コンテナ戦略港湾政策については、京浜港における港湾運営会社の統合について27年度中の実現に期待していると語ったほか、バルク戦略港湾では条件が整った港から整備等を順次進めていきたいとの考えを示した。

このうちコンテナ戦略港湾については、「阪神港では神戸・大阪両港の特例港湾運営会社が経営統合し昨年10月に阪神国際港湾㈱が発足した。また12月には国出資を行い、国、港湾管理者、民間の協働体制が構築された。京浜港の経営統合については東京都、川崎市、横浜市の三者で調整して頂いている。当初の計画であった26年度中の統合は難しいが、我々もできるだけ早く統合が実現できるように取り組んでいきたい」、などと述べた。

【港湾空港タイムス】

.....

### 3. 「交通政策基本計画」を2月13日閣議決定

政府は交通政策の長期的な視点に基づき今後講ずべき施策を定めた「交通政策基本計画」を2月13日閣議決定した。同計画は交通政策基本法に基づき今回初めて策定したもので、国際コンテナ戦略港湾の機能強化やクルーズ振興による地域活性化等に向けた取組み等を推進することを位置付けるとともに、計画期間内の数値目標を示している。

計画期間は2014年～2020年。

計画では基本的方針として、①豊かな国民生活に資する使いやすい交通の実現、②成長と繁栄のための基盤となる国際・地域間の旅客交通・物流ネットワークの構築、③持続可能で安心・安全な交通に向けた基盤づくり、の3つの視点で施策を展開することとし、これまでの取組みを更に推進する施策と今後新たに検討する事項を提示している。

#### 【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鋳（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####